

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	3
地区名	ハツ面小学校

●地区の概況

市北部に位置し、北は矢作川左岸、東側は矢作古川右岸となっている。中央部を南北に伸びる谷底平野は大部分が農地として使用され、それを挟む段丘や南部の自然堤防には市街地が形成されている。特に地区西側を走る名鉄西尾線の桜町前駅、西尾口駅周辺には住宅地が広がり、地区内人口も1万人を超えている。南北に走る岡崎バイパス(国道23号)の中原I.C.があるほか、東から南西部に抜ける熊味岡崎線、東西に抜ける主要地方道岡崎碧南線が幹線道路となっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	4976 世帯	
65歳未満	9086 人	75.2 %
65歳以上	2822 人	23.3 %
合計	12087 人	

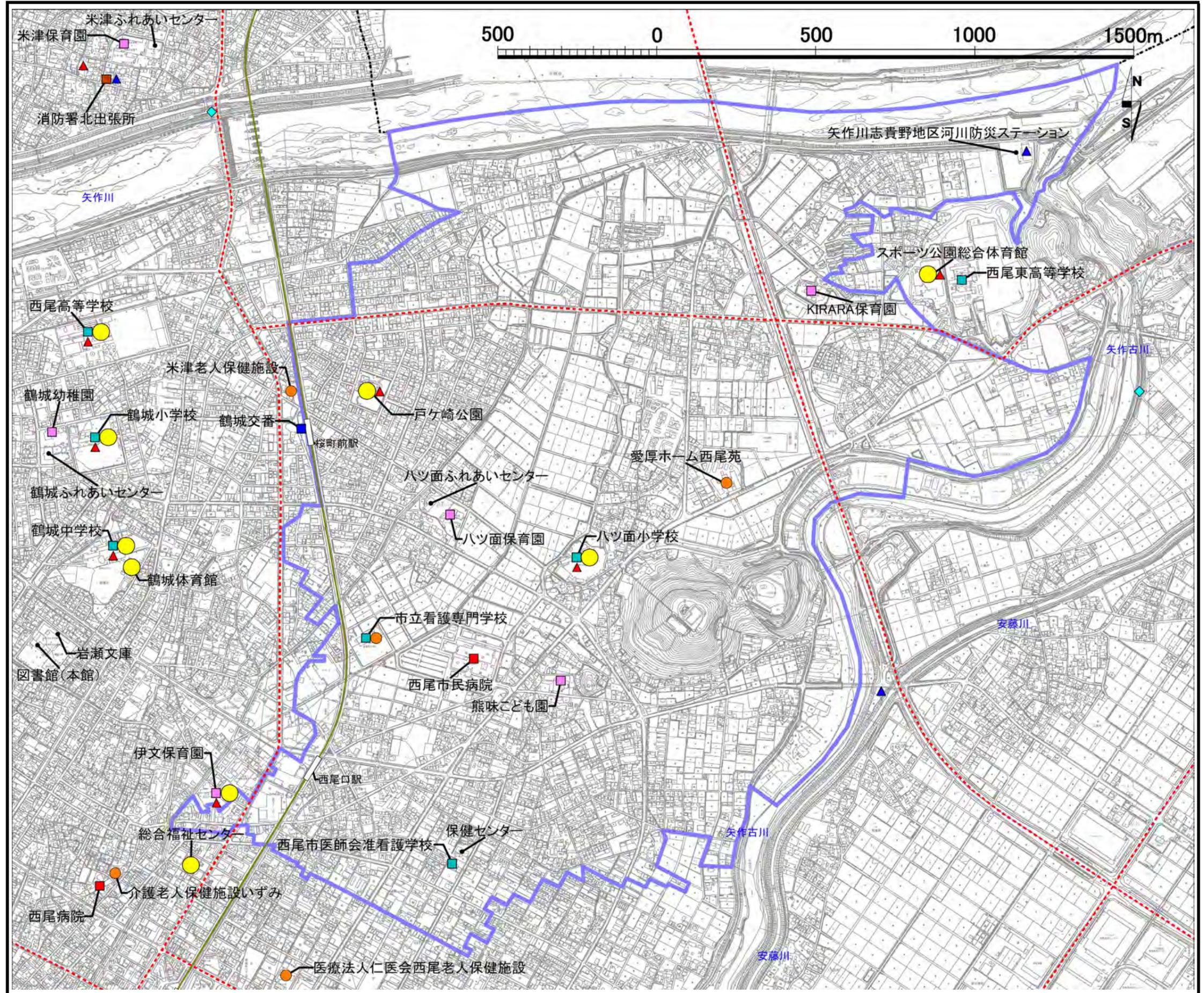
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

洪水時は、広い範囲にわたり浸水が想定されているが、地区内で洪水時に開設される指定避難所は1箇所のみであるため、避難者数が多い場合、地区外への避難を検討する必要がある。また、丘陵地では土砂災害の危険性がある。地震時は、南部において液状化の危険度が極めて高いほか、住宅密集地では、避難路の閉塞が起こりやすい。

●凡例

● 指定緊急避難場所	● 学校
● 指定避難所	● 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	● 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	● 水防倉庫
◎ 市役所・支所等	● 飲料水兼用耐震性貯水槽
● 警察署等	● 防災活動拠点
● 消防署等	● 衛生施設
● 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	3
地区名	八ツ面小学校

●地区別大雨等被害の特性

矢作川が氾濫した場合、地区北部で最大浸水深が5m以上10m未満となり、主に農地や北部及び南部の住宅街が浸水域となる。地区内にある西尾市民病院や一部の福祉避難所が浸水想定区域に含まれている。指定避難所は八ツ面小学校のみであり、当地区外の指定避難所として、鶴城中学校、スポーツ公園総合体育館が指定されている。

●避難環境評価

避難所収容者数	5671人
避難者数	10937人
最長避難距離	約 2.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

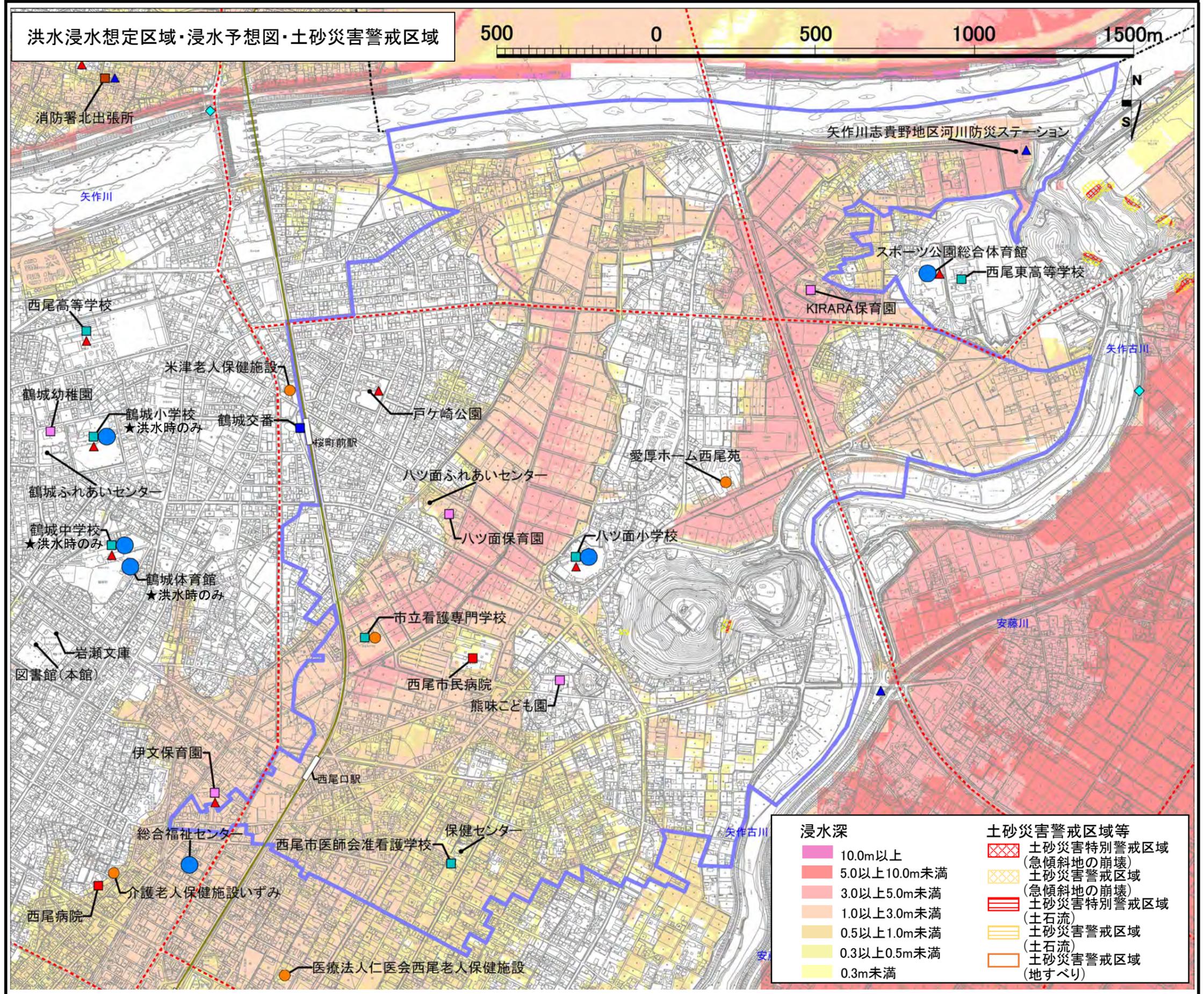
対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	3m以上5m未満
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	2箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	1箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	3
地区名	八ツ面小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、地区西部及び南部の住宅街等では最大で震度6強となる。(下図参照)

南部では液状化の危険度が極めて高く、地区内にある西尾市民病院も液状化の危険性が高い場所に位置している。

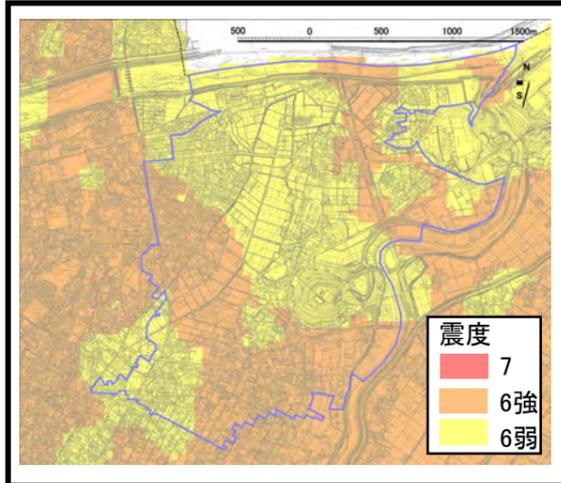
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数	954人
※津波による建物倒壊避難者も含む	

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

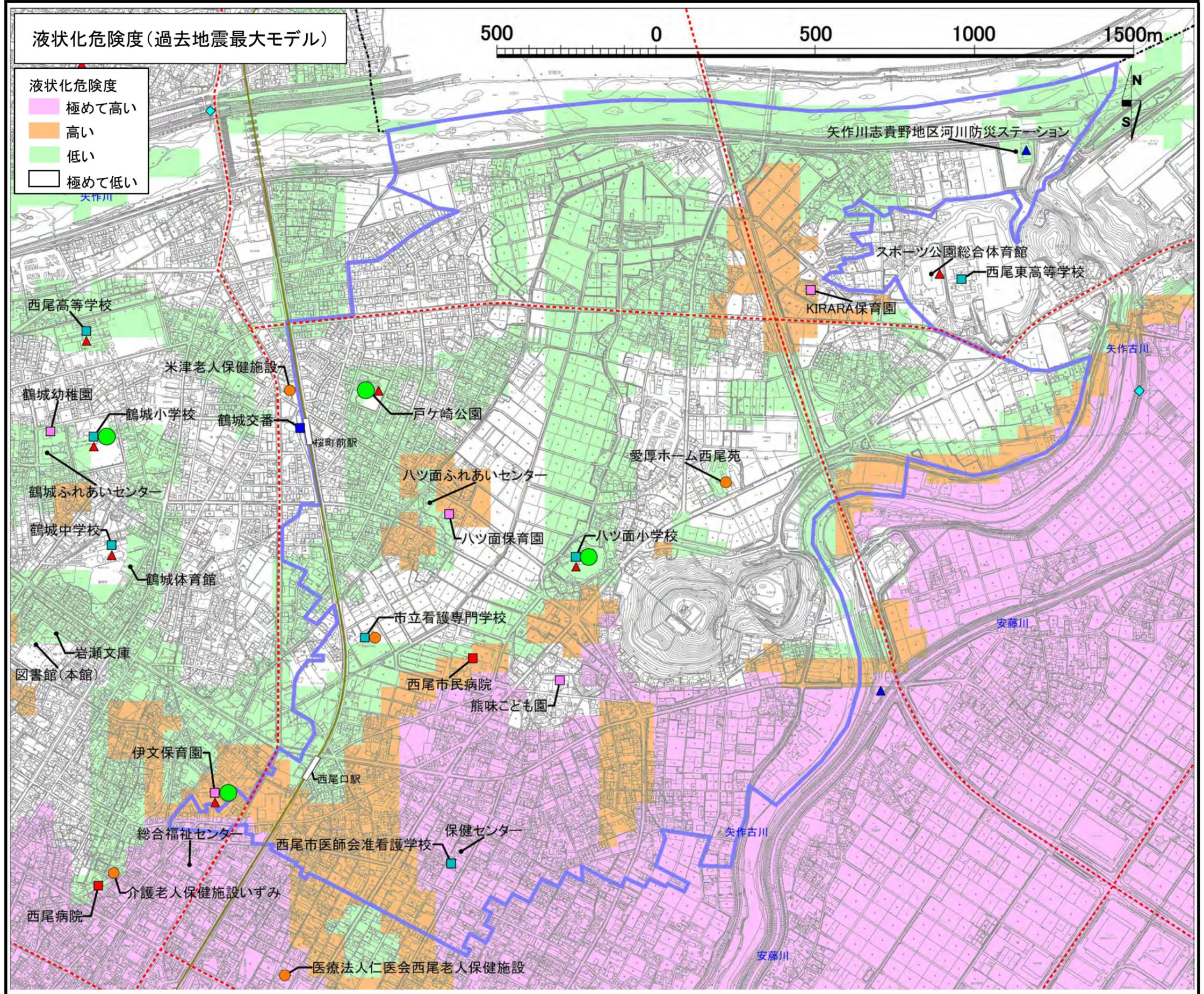
建物全壊数	178棟
建物半壊数	465棟
死者数	8人
重傷者数	15人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)
- 福祉避難所
- 市役所・支所等
- 警察署等
- 消防署等
- 救急病院
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 学校
- 幼稚園・保育園等
- 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
- 水防倉庫
- 飲料水兼用耐震性貯水槽
- 防災活動拠点
- 衛生施設
- その他の施設
- 小学校区界
- 市町村界
- 鉄道
- 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	3
地区名	ハツ面小学校

●地区別津波被害の特性

海岸から遠く、地区内に浸水想定区域がないため、津波避難の必要性はないが、矢作川付近では津波の遡上が予想されるため、不用意に川に近づかないことが重要である。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0人
避難所収容者数※1	1757人
避難者数	-人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 - km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

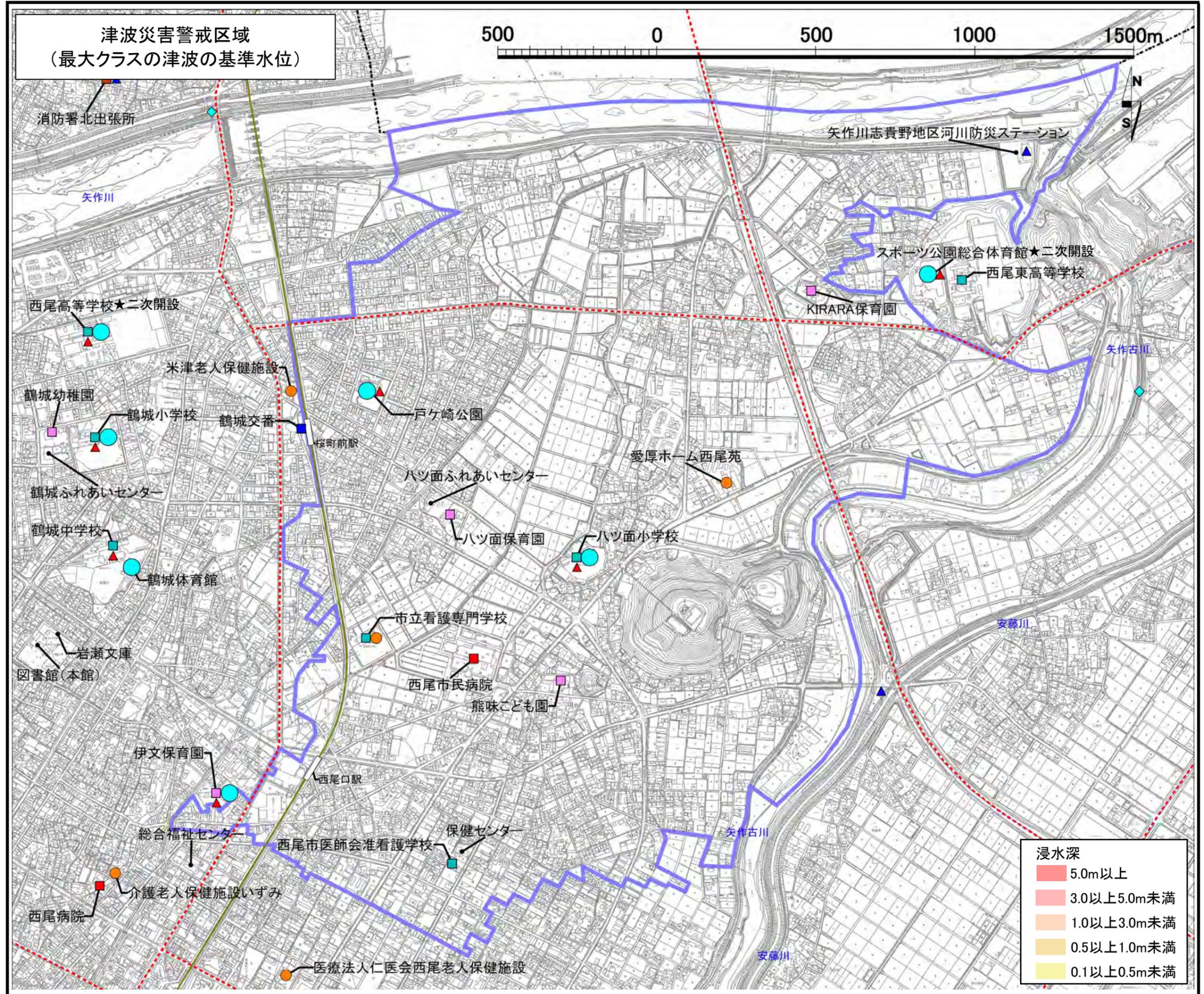
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	範囲外
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	0.3m以上1m未満

●津波発生時の避難先

避難目標:ハツ面小学校、戸ヶ崎公園
(他校区からの避難目標)

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	3
地区名	八ツ面小学校

●地区別高潮被害の特性

海岸から遠く、地区内に浸水想定区域がないため、高潮避難の必要性はないが、矢作川付近では高潮の遡上が予想されるため、不用意に川に近づかないことが重要である。

●避難環境評価

避難所収容者数	0人
避難者数	-人
最長避難距離	約 - km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	範囲外
---------	-----

●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所 (高潮時使用可)	■ 学校
● 福祉避難所	■ 幼稚園・保育園等
◎ 市役所・支所等	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
■ 警察署等	▲ 水防倉庫
■ 消防署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 救急病院	▲ 防災活動拠点
◆ 水位観測所	▲ 衛生施設
◆ 雨量観測所	● その他の施設
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路

